

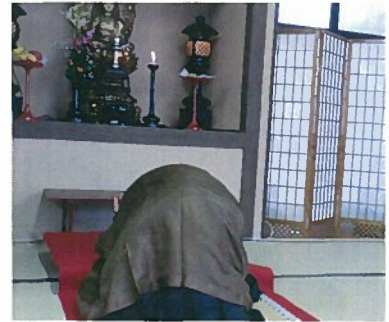
## 平成26年3月15日（土）の「仏教女性の集い」

やっと穏やかな季節となりさくら便りの知らせが待ち遠しい頃となりました。足取りも軽く大勢の方の参加で「仏教女性の集い」は開催されました。

お彼岸の時期に相応しく、近藤先生は開催前に知恩院の墓地にお参りをされた事。その墓所に眠ってられる方の話をして下さいました。また法然上人を崇拝された『極楽から来た』の著者であり、文豪の佐藤春夫もこの知恩院にお墓があるそうです。



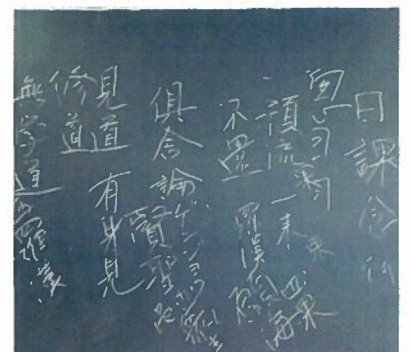
立派なお墓が並ぶ中、密やかに立つ内田貞恩尼のお墓があり、この方は尼僧教育の礎を築かれた方であり、法然上人の教えを広く説かれていたそうです。今、近藤先生が住職をされている母恩寺の先々代と言う縁もあってお参りをされた。とお話をなさっていました。



御法話は、法然上人御法語後篇 第30「廻向」勅伝第23巻

「廻向」と言うと戒名や各家の先祖代々を別時の時に読み頂く事が「廻向」だと思いがちでしたが、毎日、数を決めて念仏をしましょう。廻向とは廻らし受ける事。有りとあらゆる物を全て振り向ける。衆生の為に戻らします。念仏をすれば光が照らされ、3つの有り様を示している（地獄・餓鬼・畜生）三悪道の苦しみから抜け出させて下さる。南無阿弥陀仏と称えれば無限に開かれた命の源へ帰る事が出来る。法然上人は教えを説いて下さっている。願共諸衆生往生安楽国 自分自身が救われるのはもちろんの事、自分が悟る前に他の人と共に他の人の願いを救う。と、

今更ながらですが、仏教とは、なんと難しい事だと悩んでおります。これをしてはいけない、あれをしてはいけないと制限されているわけではありませんが、どうも自分自身が勝手にバリアを張っているようです。頭でっかちにならずに、素直に今日一日を喜び、一生懸命に生き抜く。阿弥陀様の力を信じて今を過ごしたい。いつも、近藤先生のお話を聞いて帰る道すがら感じています  
(参加者感想 K. O)



座談会では、法話の中でされていたお墓の話、羅漢様の話、いろいろな話が出ました。法話の中で、人間は進化によって自然の力を顧みず過信をしてしまっている。人としての本分を忘れてしまっている。人それぞれの考えはあるとしても、人間の傲慢を出してはいけない。とも話して下さいました。先生は力強く一貫した生き方を続けておられる。世の中の流れに染まりがちな私に大きな力となって導いて下さるお姿は今日の糧となり明日への勇気を頂いた一日でした。

4月に知恩院で行われる法然上人の御忌の案内がされる中、御忌とは法然上人の年忌であり、天皇より50年ごとに大師の号を賜られ、多くの大師号を唯一お持ちの方であると本部先生のお話も加わり楽しいひと時が過ごせました。



お茶菓子「菜の花のきんとん」

次回の「仏教女性の集い」は平成26年4月19日です。

「仏教女性の集い」は毎月第3土曜日、1時～4時

参加費1,000円 宗教・宗派は問いません。

条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩150m

『吉水尼僧庵』（旧尼僧道場跡）で開催致しております。

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581まで

「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載

<お知らせ>

近藤先生がご法話下さいました法然上人御法語「前編」が今年出版されます。